

交付運用報告書

この冊子を読むことでファンドの運用成績を確認できます。
受益者のみなさまの投資判断の一助として是非ご活用ください。

三菱UFJ チャイナオープン

追加型投信／海外／株式

第22期末（2018年9月20日）	
基準価額	13,562円
純資産総額	7,476百万円
騰落率 (上昇率・下落率)	-7.3%
分配金合計	0円

第22期（決算日：2018年9月20日）

作成対象期間

（2017年9月21日～2018年9月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、香港、上海および深センの金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とし、中華経済圏の発展の恩恵を受けるとされる企業の株式を中心に投資することにより、キャピタルゲインの積極的な獲得をめざすことで、信託財産の成長をめざして運用を行うことを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で閲覧できます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧およびダウンロード方法＞

- ①右記ホームページにアクセス
- ②「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドを検索し、選択
- ③ファンドの詳細ページで運用報告書（全体版）を選択



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
(受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

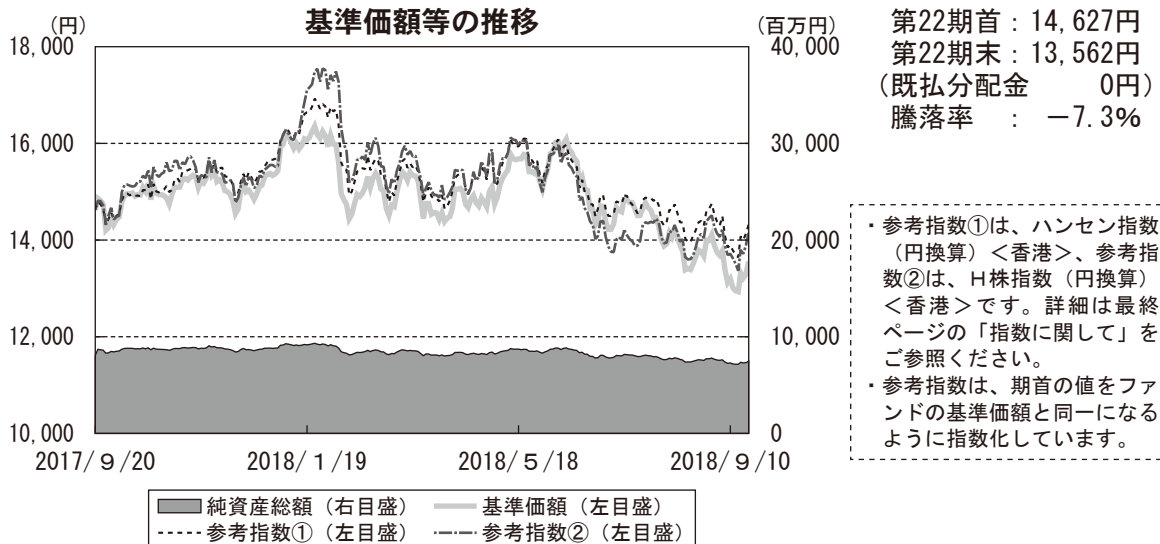
運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第22期：2017/9/21～2018/9/20)

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ7.3%の下落となりました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の変動要因

下落要因

主要投資対象である香港取引所上場銘柄が、株式市況の下落を背景に現地通貨ベースで下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

(2017年9月21日～2018年9月20日)

i 記載された金額は、期間中にファンドを介して受益者のみなさまが間接的にご負担いただいた費用です。

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	245円	1.644%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
(投信会社)	(116)	(0.779)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(113)	(0.757)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(16)	(0.108)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	23	0.153	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株式)	(22)	(0.150)	
(投資信託証券)	(0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	16	0.107	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(16)	(0.106)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
(d) その他費用	11	0.077	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(11)	(0.073)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監査費用)	(1)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	295	1.981	
期中の平均基準価額は、14,915円です。			

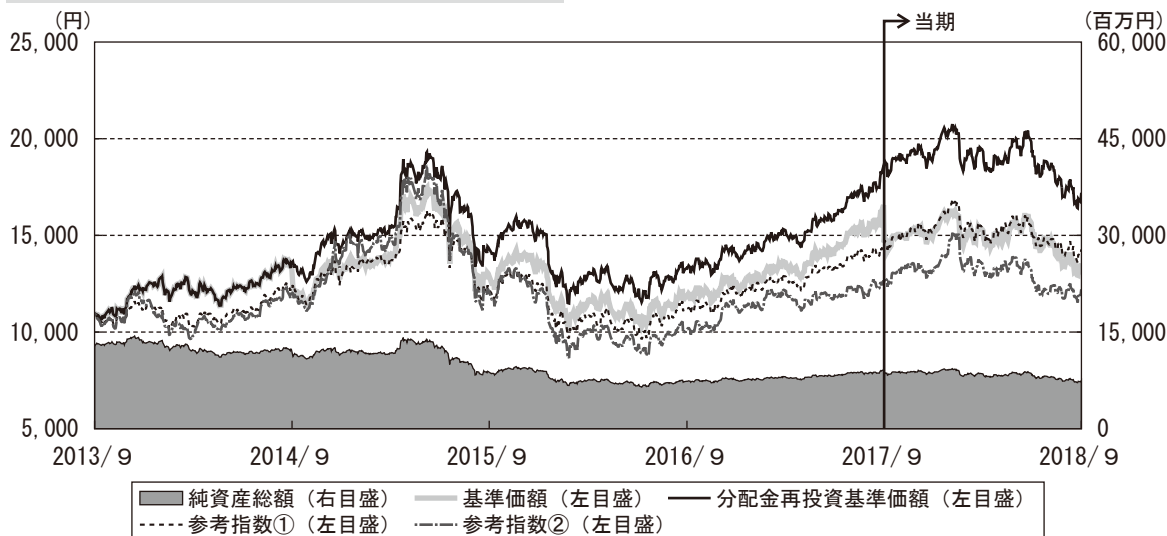
(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2013年9月20日～2018年9月20日)



- ・分配金再投資基準価額、参考指数は、2013年9月20日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
- ・海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

	2013/9/20 期初	2014/9/22 決算日	2015/9/24 決算日	2016/9/20 決算日	2017/9/20 決算日	2018/9/20 決算日
基準価額 (円)	10,964	12,346	12,562	11,870	14,627	13,562
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	1,300	200	0	1,900	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	24.5%	3.4%	-5.5%	39.2%	-7.3%
参考指数騰落率①	—	13.2%	-3.3%	-6.3%	29.6%	-2.1%
参考指数騰落率②	—	9.6%	-2.1%	-13.7%	24.2%	-3.2%
純資産総額 (百万円)	12,842	11,217	8,550	7,373	8,087	7,476

- ・ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

参考指数①は、ハンセン指数 (円換算) <香港>、参考指数②は、H株指数 (円換算) <香港>です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

投資環境について

(第22期：2017/9/21～2018/9/20)

◎株式市況

- ・当ファンドの主たる投資市場の指数であるハンセン指数（円換算）は2.1%の下落、H株指数（円換算）は3.2%の下落となりました。
- ・期首から2018年1月にかけては、景気指標が中国経済の底堅い成長を示す内容だったことや、米国の税制改革法案が成立し、世界景気に対する楽観的な見方が広がったことなどを受けて、香港株式市場は上昇しました。
- ・その後、米国で発表された雇用統計が賃金上昇の加速を示唆する内容だったことで金利の急激な上昇への警戒感が高まり、米国株式市場が大幅に下落したことや、米国政府が中国からの輸入品の一部に関税を課すことを発表したことをきっかけに、米中間の貿易摩擦激化に対する懸念が高まったことなどを受けて、香港株式市場は下落しました。

◎為替市況

- ・為替市況は期首に比べ、0.2%の円安・香港ドル高となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

- ・個別銘柄では、中国における電子商取引やインターネットビジネスの成長の恩恵を受けると判断したインターネット関連大手銘柄への重点的な投資を継続しました。
- ・期末の組入銘柄数は、期首と同じ49銘柄となりました。
- ・以上のような運用の結果、保有銘柄の株価下落がマイナスに影響し、基準価額は下落しました。パフォーマンスに影響を与えた主な銘柄は以下の通りです。

(プラス要因)

◎銘柄

- ・AIA GROUP LTD（保険）：香港の保険会社。アジア各国で生命保険などを提供し、中国をはじめとするアジア各国の保険市場の拡大に伴い好業績が期待できると判断し、組み入れを継続しました。当期は、中国を中心に、新たに獲得した保険契約の価値を示す新契約価値が堅調に推移したことが評価され、株価が上昇しました。

(マイナス要因)

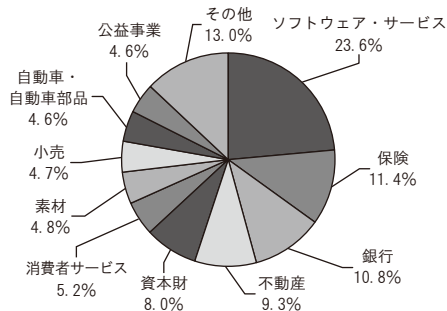
◎銘柄

- ・ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR (ソフトウェア・サービス)：中国の代表的な電子商取引サイトを運営する大手インターネット企業。電子商取引市場における高いシェアと新規ビジネス拡大により好業績が期待できると判断し、組み入れを継続しました。当期は、米中間の貿易摩擦が激化するなか、中国関連企業に対する市場心理が悪化し、株価は下落しました。
- ・MMG LTD (素材)：銅や亜鉛の採掘を手掛ける資源企業。世界的に銅の需給が逼迫すると見通しの下、銅価格上昇に伴う業績拡大が期待できると判断し、新規に組み入れました。期中に組み入れ後、米中間の貿易摩擦の激化を背景とした中国経済の減速に伴う銅需要鈍化への懸念などから、銅価格が軟調に推移し、株価は下落しました。

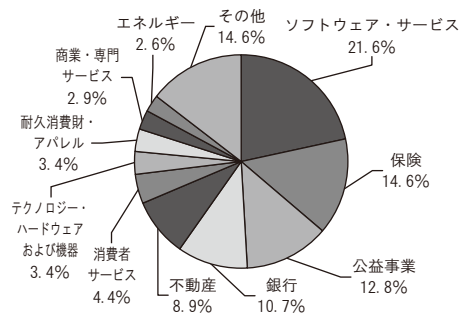
(ご参考)

組入上位10業種

期首 (2017年9月20日)



期末 (2018年9月20日)



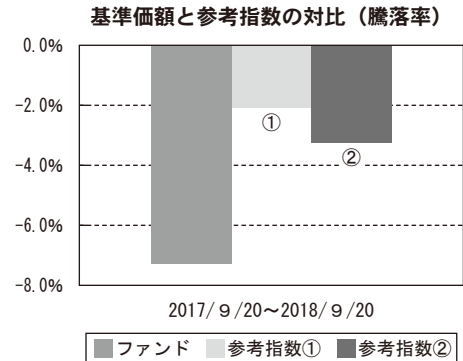
(注) 比率は現物株式評価額に対する割合です。

(注) REITを含めて表示しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

i ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数①は、ハンセン指数（円換算）＜香港＞、参考指数②は、H株指数（円換算）＜香港＞です。



分配金について

i 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 （単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第22期
	2017年9月21日～2018年9月20日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	9,646

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

◎運用環境の見通し

- ・中国の景気指標には経済成長率の一服感が伺えるものの、中国政府は、外部要因による景気減速に対処するため預金準備率の引き下げや減税、インフラ投資の拡大など、迅速な政策調整を行っており、大幅な景気減速は回避される見込みです。不良債権問題などの対応にはなお時間を要するものと考えられますが、中国政府は2020年までに国内総生産（GDP）と一人当たり所得を2010年比で倍増させる目標を掲げており、中国経済は実質GDP成長率が6%台の安定的な成長ステージが続くと考えています。米国の保護主義的な政策や金融政策は波乱要因として残りますが、香港株式市場は堅調な企業業績を背景に、底堅く推移するとみています。

◎今後の運用方針

- ・中国経済が安定的に成長していくとの見通しの下、当ファンドにおいては、所得向上により恩恵を受けると考えられる電子商取引や保険関連企業に重点を置いたポートフォリオの構築を継続していく方針です。また中国で急速に加速するイノベーションにより産業高度化を牽引すると考えられる情報技術関連株などの銘柄選別に注力します。
- ・また、香港、上海および深センの株式市場に上場する株式に加え、米国株式市場にADRとして上場している株式や台湾株式市場に上場している株式への調査も強化し、引き続きポートフォリオに組み入れていく方針です。

お知らせ

i 受益者のみなさまに知っていただきたいファンドに関するお知らせを掲載しています。

◎約款変更

- ・当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。(変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/>→変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>) (2018年1月1日)

◎その他

- ・本資料内における旧シティ債券インデックスは、ブランド変更に伴い、FTSE債券インデックスの名称に変更しています。
- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>)にて開示を行っている場合があります。

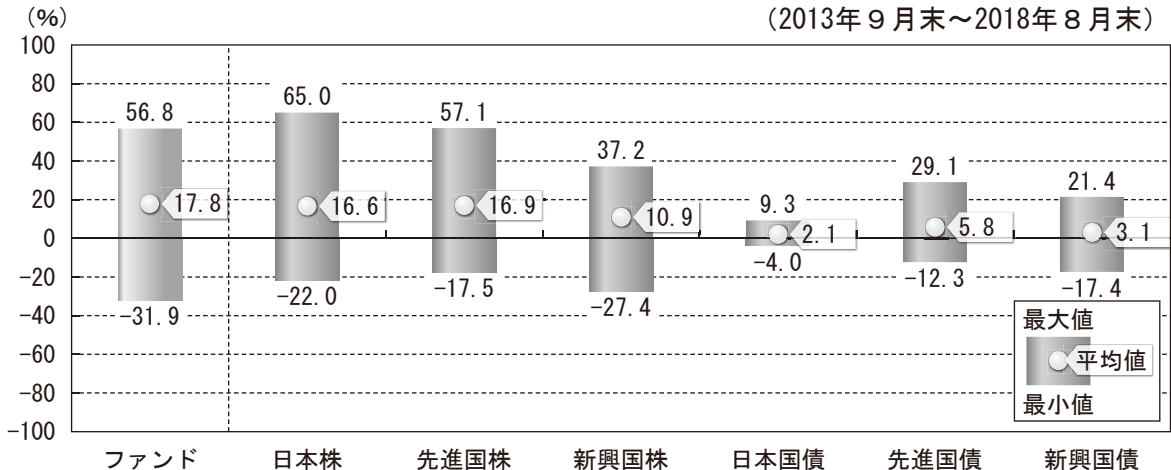
当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2021年9月17日まで（1996年10月1日設定）
運用方針	<p>主に、香港、上海および深センの金融商品取引所（ただし、設定日以降、中国に新しく金融商品取引所が創設された場合はこれを含みます。）に上場されている株式に投資し、キャピタルゲインの積極的な獲得をめざします。運用にあたりましては、中華経済圏の発展の恩恵を受けるとされる企業の株式を中心に投資します。三菱UFJ国際投信は、人民元建株式（A株）投資に係るQFIIライセンスを取得しています。</p> <p>※QFII（Qualified Foreign Institutional Investors：適格国外機関投資家）制度とは、一定の適格条件を満たし、中国の証券市場に投資することについて中国証券監督管理委員会（CSRC）の認定を受け、かつ国家外貨管理局（SAFE）から投資限度額を取得した国外の機関投資家に対して、中国証券市場への投資を認める制度です。</p> <p>投資対象銘柄群の中でも、情報開示に優れ、明確な戦略を持ち、長期的な成長が期待できる企業に投資します。原則として株式を高位に組み入れる方針ですが、市況環境やファンドの資金状況によっては、組入比率が高位とならない場合があります。香港、上海および深セン取引所以外の市場で取引されている中国企業の株式、預託証券（DR）およびカントリーファンド等へも投資します。また、台湾企業の株式、預託証券（DR）およびカントリーファンド等へ投資することがあります。外貨建資産については、為替変動リスクを軽減するため為替ヘッジを行うことがあります。運用にあたりましては、Mitsubishi UFJ Investment Services (HK) Limitedからの投資助言・情報提供を受けることとします。</p>
主要投資対象	香港、上海および深センの金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とします。
運用方法	香港、上海および深センの金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とし、中華経済圏の発展の恩恵を受けるとされる企業の株式を中心に投資することにより、キャピタルゲインの積極的な獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

i 当ファンドの基準価額の変動率を他資産と比較することでファンドの値動き特性を捉えるのにお役立てください。

(2013年9月末～2018年8月末)



○上記は、2013年9月から2018年8月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

○各資産クラスの指数

日本株：TOPIX（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

日本国債：NOMURA-BPI（国債）

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

(2018年9月20日現在)

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：49銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1	ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	株式	ケイマン諸島	ソフトウェア・サービス	9.0%
2	TENCENT HOLDINGS LTD	株式	ケイマン諸島	ソフトウェア・サービス	8.5%
3	AIA GROUP LTD	株式	香港	保険	8.0%
4	HONG KONG & CHINA GAS	株式	香港	公益事業	6.2%
5	CLP HOLDINGS LTD	株式	香港	公益事業	4.1%
6	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	株式	中国	保険	3.9%
7	CHINA CONSTRUCTION BANK-H	株式	中国	銀行	3.3%
8	BAIDU INC - SPON ADR	株式	ケイマン諸島	ソフトウェア・サービス	3.0%
9	GREENTOWN SERVICE GROUP CO L	株式	ケイマン諸島	商業・専門サービス	2.8%
10	NEW ORIENTAL EDUCATIO-SP ADR	株式	ケイマン諸島	消費者サービス	2.4%

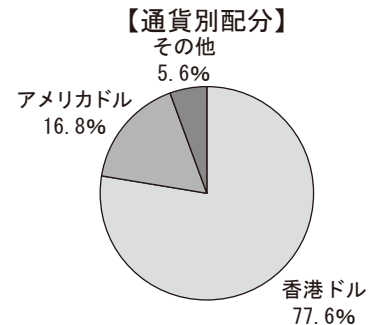
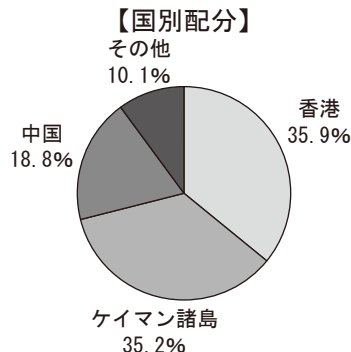
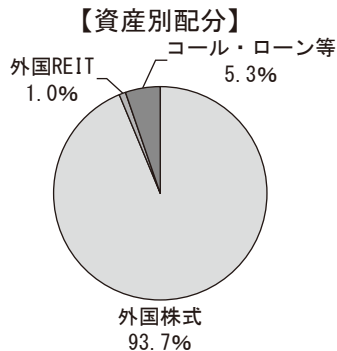
- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・REITを含めて表示しています。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

純資産等

項目	第22期末 2018年9月20日
純資産総額	7,476,323,538円
受益権口数	5,512,584,566口
1万口当たり基準価額	13,562円

- ・当期中において
追加設定元本は 836,292,690円
同解約元本は 853,069,748円です。

種別構成等



- ・比率は純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

○ファンドの参考指数①である『ハンセン指数（円換算）＜香港＞』について

ハンセン指数とは、香港取引所上場の主要銘柄から構成される代表的な株価指数で、香港取引所上場の浮動株比率を用いた時価総額加重に基づく計算方法で算出されています。ハンセン指数（円換算）は、ハンセン指数をもとに委託会社が計算したものです。

○ファンドの参考指数②である『H株指数（円換算）＜香港＞』について

H株指数とは、香港取引所上場の中国本土企業の銘柄を対象とし、基準日（2000年1月3日）の時価総額を2,000として算出される浮動株調整後時価総額加重平均指数です。H株指数（円換算）は、H株指数をもとに委託会社が計算したものです。

○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI（国債）

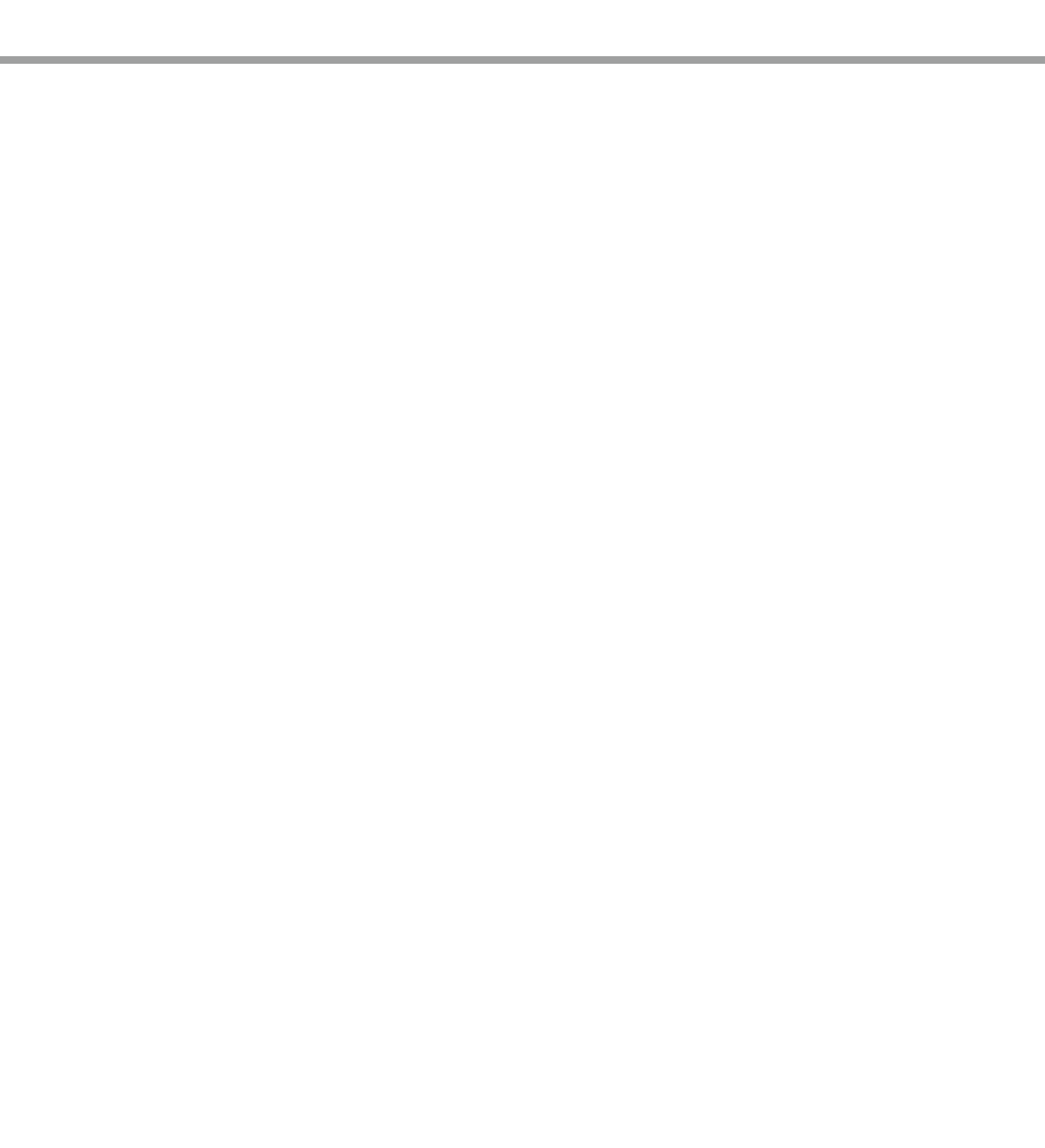
NOMURA-BPIとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（国債）はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI（国債）は野村證券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。

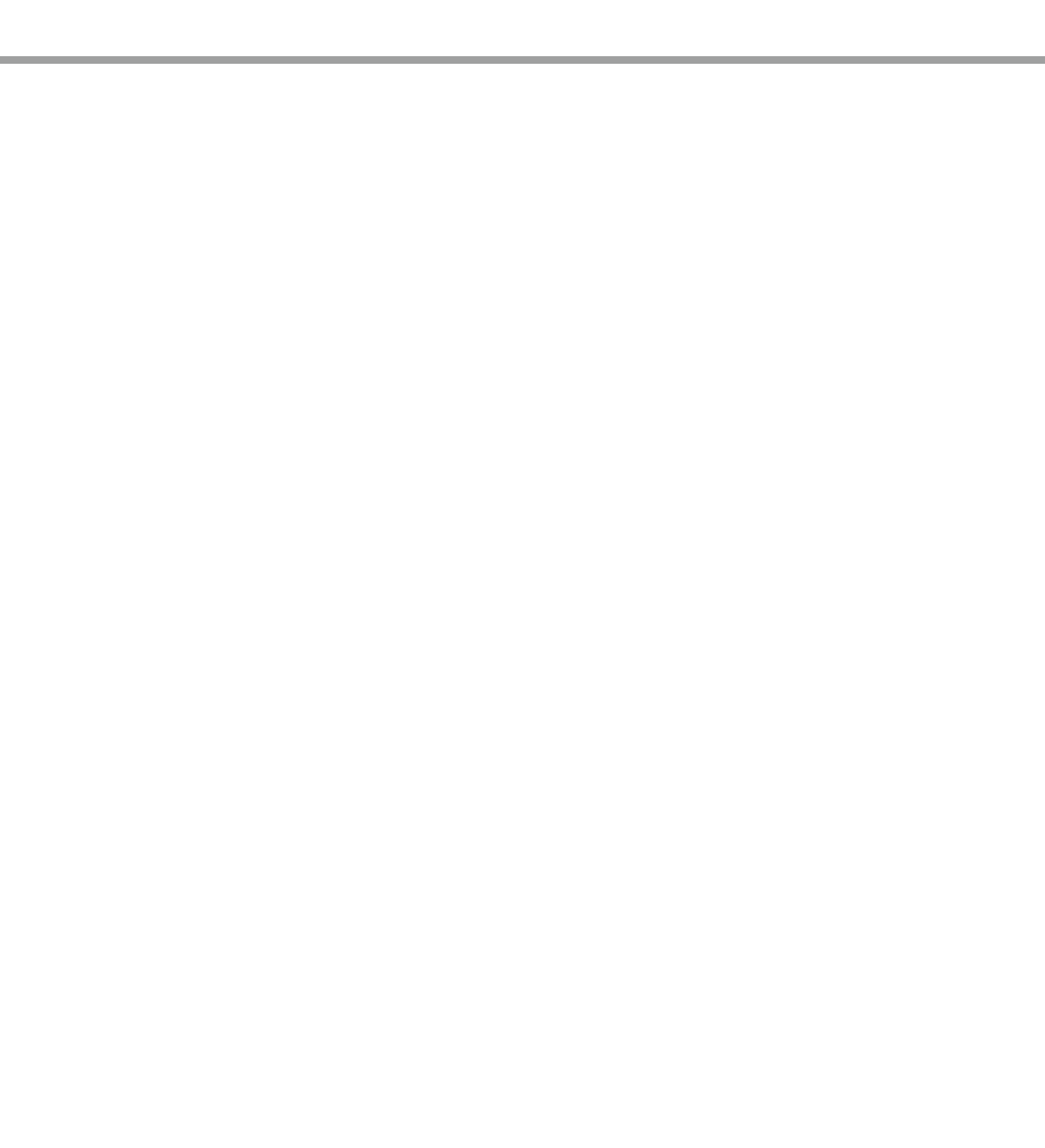
FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキリティーズ・エルエルシーに帰属します。







三菱UFJ国際投信